

リスキリングワークショップ 変化に対応し、未来を切り拓く



茨城県では、県内産業の生産性向上や賃金水準の向上を目指し、企業人のリスキリングの推進に取り組んでおります。

グロービス株式会社の鳥潟幸志氏を講師にお招きし、変化の激しいこの時代に未来を切り拓いていくノウハウを学びました。

私たちは日常生活においてシステムとともに生きています。テクノロジーの進展を理解し、変化に対応していくために必要な「学び」の理解を深めました。

日時 令和6年11月17日(日) 13:00～16:00

場所 イーアスつくば イーアスホール

参加者 茨城県内で働いている方 又は茨城県在住で求職中の方
28名

講師 鳥潟 幸志 氏 (株式会社グロービス マネジング・ディレクター)



内容

講義	リスキリングの必要性
講義	DXに求められる人材像とスキル開発
グループワーク	自分が所属する業界における今後5～10年の変化
講義	キャリア自律の必要性と戦略的学習力
グループワーク	目標設定
講義	AI普及時代に求められる「問いの設定力」



講義要旨

- 10～20年後には日本の労働人口の約49%が就いている職業が、機械によって代替される可能性が高く、デジタルリスキングを進め、スキルをアップデートしていく必要がある。
- 個人として、変化に対応するための第一歩を踏み出していくことが重要。
- キャリアを自律的に作るためには変化が必要で、そして変化のためには「学習」が必要。長期的にどんな人生を歩んでいきたいのかという視点で、学ぶ目的を明確化していくとうまくいきやすい。
- 効率化への貢献が中心だったテクノロジーが、いよいよ人間の「思考・創造性」への領域へと入ってきている。AI普及時代には、ビジネスパーソンとして自分らしさがより重要となっており、AIへの問いを適切に設定する力、AIが導く解を判断する力、リーダーシップというスキル（能力）が重要になってくる。



参加した皆さんの感想・今後取り組んでいく施策や目標

（感想）

- 他業種の方と、それぞれの組織での問題や将来ビジョンについて話すことができ、貴重な機会となった。
- 個人としてリスキリングに取り組む際のポイントを学ぶことができた。もっと具体的な事例の展開や共有の機会があると、これから取り組もうとしている人々へ大きな後押しとなるのではないかと思う。
- 福祉分野で人材不足が大きな課題となっているため、外国人との連携や、介護ロボット、AIの活用について何に取り組むか、計画を立てて全体で共通認識をもって学んでいきたい。

（目標など）

- 社内のDX化、IT化、AI化に向けて、それらの基礎知識を学び、さらにコミュニケーションスキルを高めていきたい。
- 自身のキャリアデザインを明確化したい。また、組織の体制を正しく把握し、課題を可視化したうえで、学び時間を確保していきたい。